



2月の園だより

令和7年2月1日

目黒区立八雲保育園 園長

～学びに繋がる遊びの一步～

朝夕の寒さが厳しい毎日ですが「氷（霜柱）あるかな」「はぁ～ってすると（息）白いね」と五感を使って季節を感じている子どもたちです。散歩先や園庭で冬の自然を見つけると「それはどうなったらできるのかな」と保育士に聞いたり、絵本や図鑑で調べたりしています。興味がどんどん広がってそれはやがて“学び”に繋がっていくのだと子どもたちの姿から感じます。“学び”に繋がる遊びは、小さな年齢からすでに始まっています。先月には“乳児お楽しみ会”があり0、1、2歳児クラスが地域の親子と一緒に参加しました。当日は、子どもたちが日頃から読み聞かせなどで親しんでいるお話を保育士が実際になりきって表現したり、パネルシアターで見たりしました。

“このお話知ってる”と保育士と目を合わせた子の表情は真剣そのもので、終わった後も出口に飾られていたパネルシアターをじっと見たり触れたり、しばらくお話の世界の余韻を楽しんでいるようにも見えました。その日のお迎えの時に廊下に飾られた『トピックス』で様子を知った保護者に「だるまさん、いたの」と伝え「楽しかったね、だるまさんのお話あったかな・・・」と絵本コーナーに向かって行きました。子どもたちが遊びの中でその日感じた気持ちを保護者のみなさまと共有することで、子どもたちの興味や関心がより大きくなる保育をこれからも継続していきたいと思います。

各クラス、今年度最後の懇談会が始まっています。4月当初の子どもたちの姿を振り返りながらこの一年間の成長を語り合えたらと思いますので、是非ご参加をお待ちしております。

2月の行事予定

2歳児クラス懇談会
4歳児クラス懇談会
3歳児クラス懇談会
身体計測 避難訓練

3月の行事予定

卒園お祝い会（4・5歳）
なかよし散歩（3～5歳）
移動日（全園児）
お別れ会（全園児）
身体計測 避難訓練

こんなかわいい姿があります

ホールの遊び☆らっこ組(2歳児クラス)

ルンルン♪

「青いフープがいい！」
「一緒に入ってもいい？」

フープ取りゲーム

「曲が止まったらフープに入るやつやりたい！」
「親子でビューン（運動会でダンスをした曲）にしようよ」と遊びから曲までリクエスト。

（お名前を呼ばれると）
大きな声で「はい！」

ぞうさんとくものす

ゾウの列には参加せず見ている子がいます。「ゾウにはならないの。ぼくはライオンだから！」

しっぽ取り

“しっぽ、ちゃんと付いているかな”とお尻を何度も見たり手で触ったり確認しながら走っています。

ブンブン🐼

「もう速い！速い！待ってよ！」
「ぼくのしっぽは取らないで」



クラスを超えた関わり

めだか組（0歳）・あひる組（1歳）・らっこ組（2歳）

ちゃんと見ているよ

園庭にタイヤやすのこを組み合わせてサーキットを設定しました。この日は乳児クラスが順次庭に遊びに来ていました。サーキットを見て気づいた子から早速遊び始めます。ゆっくり進むめだか組、あひる組に対し身のこなしの軽いらっこ組の子どもたち。そのうち列が詰まってきました。「早く行って!」「行けないよ!」となんだか雲行きが怪しいです。その時、様子を見ていたらっこ組の子が「カンカンカン、踏切でーす、止まってくださーい」とあひる組の子の後ろで列を遮断し始めました。それを聞いて先頭の子が止まり、踏切が開くのを嬉しそうに待っています。後ろに続く他の子も状況を見て待っています。あひる組の子がゆっくりタイヤのトンネルをくぐり抜け先に進むと「どうぞー」と踏切が開きました。そしてまた「カンカンカン…」と順番に進めるように踏切を続けています。友達のアイデアが楽しい遊びに展開し、順番に進むことができました。後日、並んだ箱を見て「カンカンカンどーじょー」と踏切遊びを始めためだか組の子がいました。先日のサーキットで見ていたことを思い出して真似しているようでした。異年齢児が同じ空間で遊ぶ中で、子どもたちは年齢のりたくましさや優しさ、遊びの楽しさを学び合っています。これからも自然と生まれる交流を大切にしながら、子どもたちの関りを見守っていきます。



ぺんぎん組（3歳）・いるか組（4歳）・しろくま組（5歳）

素敵なカンケイ

幼児クラスは自由制作が大好きで、自分で作った物を使って遊んでいます。ある日、いるか組の子が「これ見て」と1.5cmくらいのサイコロ状の物を見せてくれました。そこには小さい顔の絵が描かれていました。「しろくまさんが作ってくれて、絵も描いてくれたんだ、これで遊ぶの」と積み木の家を作り、作ってもらった物を動かしてお家ごっこをしていました。その後も毎日お家ごっこが続き、大切にしていることが伝わってきました。数日後、「自分で作ってみたの」とちょっと得意そうに見せてくれました。しろくま組に教えてもらって挑戦したようです。

“絵なら〇〇ちゃん、作り物と言えは〇〇くん”と作りたいものや遊びたいことがあるとき、制作が得意な友達に「〇〇作って」とお願いする姿が見られます。頼まれたお兄さん・お姉さんも「いいよー」と快く応え、自分が作った物で嬉しそうに遊んでいる年下の友達を優しく見守っています。

同じクラス以外の友達ともたくさんの交流が見られる幼児クラス。年下の子どもたちは年上の子どもたちを憧れのまなざしで見たり、年上の子どもたちは年下の子どもたちを思いやる気持ちが見られたりしています。遊びや行事など日々の生活を通して刺激を受け、遊びの幅が広がっていきます。今後も子どもたちが互いを尊重しながら育ち合っていく姿を大切にしていきたいと思います。

